

みつぎ便り

122号
11月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成28年11月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>

クマバチ

クマバチ（熊蜂）、または、クマバチとも呼ぶこともありま
す。四〜十月位には、見次公園
の花壇で比較的良好に見られます。
この公園にはありませんが、特
に、晩春に咲いている藤棚の花
の近くに良く群がって飛んでい
るのを見ます。

藤の花を眺めていると、ブン
ブンと大きな羽音をたてて、ホ
バリングしている姿が目の前に
飛んでくるので、思わず払いの
けたくなつたことを思い出しま
す。この情景を見ると、リムス
キー・コルサコフ作曲の「熊蜂
の飛行」という音楽のことを連
想してしまいます。非常にポピュ
ラーな名曲なので、思い出す方
も多いでしょう。

この写真はメスで、大きさは
二cm強あり、メスは頭部全体が
黒く、オスは顔の中段に三角形
の黄色い模様があります。胸部
は黄色で細かい毛が生えていま
す。腹部は光沢のある黒色をし
ており、羽は褐色をしています。
体の大きさを割に細く小さい感
じがします。体全体の印象は、
ずんぐりして可愛い感じがしま

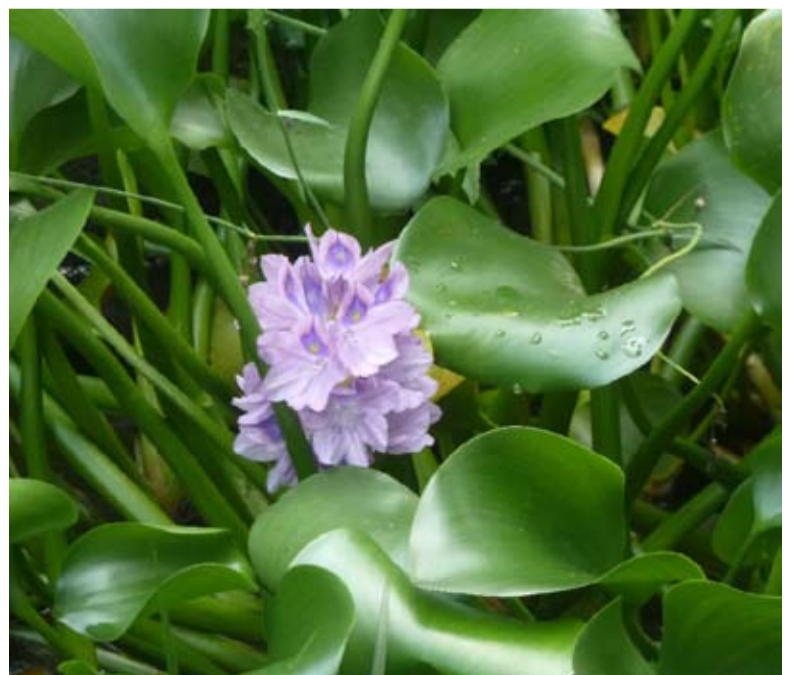
す。攻撃性は低く、手で捕まえ
たりしなければ刺したりするこ
とは少ないようです。ちなみに
オスは針がなく刺すのはメスだ
けです。

成虫の寿命は一年程度で、主
な活動期間は春〜秋までで、冬
は越冬をして翌年の晩春に交尾
期を迎え、その後寿命をむか
えると思われる。北海道
から九州まで広く生息していて、
山地、市街地、公園など広く見
ることが出来ます。
(圭)



ホテイアオイ

ボート小屋の西側に小川があ
ります。そこに今まで見たこと
もない植物群あり、名前を知り



たくて図書館と公園を何回も往
復しました。花ビラは薄紫で中
心には黄色い斑点がみられます。
観察していた十月が花期のよう
で、寂しいことに一日花で翌日
には枯れてしまいます。

そしてやつとその名前が「ホ
テイアオイ」と分かりました。
明治中期にアメリカより観賞用
に輸入され帰化した植物です。
名前の由来は布袋様のお腹のよ
うにプックリとした葉（浮草）
から来ています。

ここは以前にはクレソン等が
群生していた場所です。何事も
共存が理想ですが帰化植物の制
限も考え無くてはならない問題
です。
(薫)